

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 八千代市児童発達支援センター

公表日 令和8年3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		法令上の配置基準を上回る体制は確保されておりますが、支援を要する児童の特性や同時対応が必要となる場面の増加等により、リスクマネジメントが十分確保されていないケースがあります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	設計時から障害特性の配慮している。 認識しやすい標識の設置をしている。	ついで等による区分けは進んでいるが、児が気持ちを切り替えるための専用スペースが不足しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	清掃等の環境整備は	清潔環境面においては実行できているが、活動によって合わせられる場面と難しい場面があります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	クラスで仕切りを作って刺激を少なくする工夫をしている。	部屋数が少なく、ついで等で区切る工夫はあるものの、個別の場所の確保は十分とはいえない場合があります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3		PDCAの検討・変更改善が継続的に行われていないため、役割を明確化にし、実施していく必要があります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	保護者の意見をアンケートなどで把握している。個別支援計画の時に面談を設け意見を吸い上げるようにしている。	評価表等により保護者等の意向を確認しておりますが、改善につながるフィードバックが不足しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3		問題が生じた際や定期的に会議などを実施しているが、継続的改善につながるフィードバックが不足しています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		第三者による外部評価は実施しておらず、外部の客観的な評価を得られていないため、課題の可視化が不足しています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修の情報を共有している	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	半期に一度の総合評価で発達段階を評価し保護者が感じている課題とあわせて支援方針を検討しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	その日の子どもの状況に応じて、集団での活動の他、給食後の時間等で個別の課題に取り組む等個々の支援を行う工夫を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	月1回程度のクラス会議の中で活動内容や課題点について話し合う時間を取るようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	小学校への引継ぎを行っています。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	1	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	1	

の 連 携	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	定期的に保育園との交流を行っています。	保育園との交流のための、十分な機会の提供がされていません。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		クラス懇談会の中では、療育の中で大切にしている子どもとの接し方等をお伝えしていますが、ペアレントトレーニングとしては実施されていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	半期に一度の総合評価の際に行っています。	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者会などを開催している。	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者同士の情報交換、きょうだい同士の交流等の機会は不足しています。
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	4	今年より通園児の保護者を対象とした専用アプリにおいて、情報発信を行っております。	紙媒体での配布がまだ多い状況です。今後、アプリで行事予定は情報を配信していく予定です。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	個人情報を含む文書は鍵のかかる場所に保管している。	
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		
43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		外部との交流を望まない方も保護者等もいるため、現状、実施しておりません。	
非 常 時 等 の 対 応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3		保護者等への周知は不十分であり、周知方法の見直しが必要です。訓練内容についても見直しが必要です。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に避難訓練を行っている。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	4		安全管理について、職員の意識が不足している場面が見受けられます。
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		保護者等への周知は不十分であり、周知方法の見直しが必要です。

50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	3		ヒヤリハットの認識が不足している場合があります。
51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修を行い、どのような行為が虐待にあたるか認識をし防止に努めている。	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		